

日本がん登録協議会
第34回学術集会 愛知大会

がん登録に基づく予防・
疫学研究の深化と拡張

開催 令和7(2025)年6月5日(木)・6日(金)
会場 ウィングあいち(愛知県健康福祉センター)
主催 伊藤秀典 愛知がんセンター がん登録・疫学研究部
協賛 愛知がんセンター / 愛知県 / 認定特定非営利活動法人 日本がん登録協議会
後援 日本がん登録協議会 34 回学術集会実行委員会
〒464-8601 名古屋市中区東区 1-1 愛知がんセンターがん登録・疫学研究部
株式会社セントラルコミュニケーションサービス
〒460-0008 名古屋市中区東区 3-19-28 TEL:052(26)93181 E-mail: jpc@34jccnet.or.jp

13348

自施設の病院運営に情報還元するための全国がん登録データの利活用法
～ 日常生活圏を単位とした地域シェア分析の考案 ～

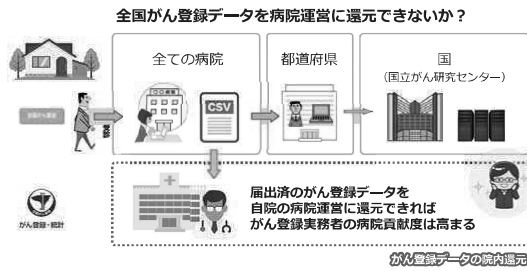
小原 仁 1) 3), 萩原 李步 2), 今村 知美 3)



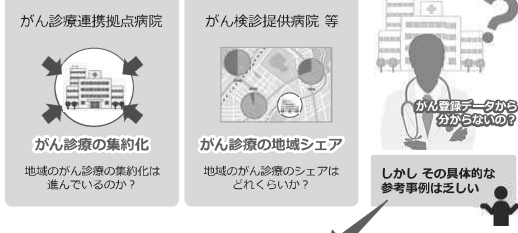
- 1) 久留米大学 医学部 医療検査学科
- 2) 嶋田病院 診療支援部 診療情報管理課
- 3) 嶋田病院 診療支援部



背景



例えば どのような還元を期待されているか？



目的

全国がん登録データを自施設の病院運営に情報還元するために多くの医療施設で実践可能な「がん登録データの活用法」を考案をした。

対象

データ: 全国がん登録届出済データ

事例: 自施設診断例を対象にした日常生活圏単位の地域シェア分析

- *1 データ項目は届出マニュアル(2025)に準ずる
- *2 日常生活圏は中学校校区単位とした

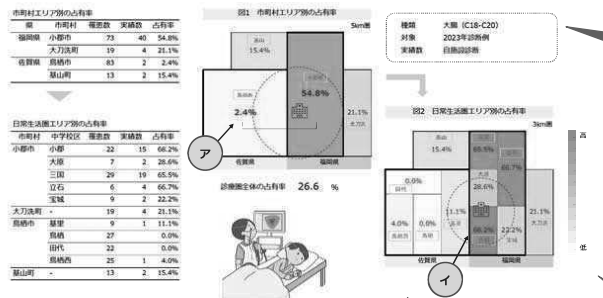


方法



結果

大腸がん診断における日常生活圏別の地域占有率



診断だけでなく
臓器別や治療種類ごとに分析可能である。

- ・ 腫瘍の種類
- ・ 診断情報
- ・ 初回治療 等

また、対策実施後の評価や
経時的な変化も同様に評価できる。

- ・ PDCAサイクルの評価指標
- ・ 事業計画などの数値目標 (KPI)

がん診療の地域シェアが異なるエリアと水準を評価できる。

- ① 隣接する市町村によってシェアは異なっており、特に別の三次医療圏内に隣接する鳥栖市の地域差は顕著であった。
- ② 病院所在のある市内においても半径5キロ圏内にある日常生活圏単位で地域格差を認めた。

> 当該地域の医療施設や住民への病院貢献のあり方を見直す機会となる。

高度な分析スキルや追加的な費用負担は必要ない。

- ① 公開データの収集
 - ・ 性・年齢別人口データ
 - ・ がん罹患率データ
- ② 自施設データの準備
 - ・ 全国がん登録データ
 - ・ 地域別郵便番号マスタ
- ③ 全ての作業をエクセルで処理

結論

全国がん登録データを用いた本分析法は
多くの医療施設で実践可能な参考事例になり得る。

